

# あおもり漁連

植村正治氏 書

## 甦れ!! 協同組合運動

No.  
158



ハタハタ仕分作業風景（鰯ヶ沢漁協）

## CONTENTS

県内系統・関係機関年頭ごあいさつ	1	第4回「ぜんぶあおもり大農林水産祭」開催	14
全国系統団体年頭ごあいさつ	7	「平成25年度海難防止技術競技会下北大会」開催	15
「我が国漁業の存続を求める 漁業代表者緊急要請集会」開催	11	野辺地町漁協 健康づくりのご紹介	17
深浦町における貨物船（ANFENG 8号） 座礁事故	13	第41回「海をきれいにする運動」優秀作品表彰式	19
		水産に関する主な動き（8月～12月）	22

2014 1

資源・金融・共済の三本柱推進

# 平成二十六年 県内系統・関係機関 年頭ごあいさつ



## 青森県漁業協同組合連合会

代理理事長 赤石憲二

平成二十六年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員はじめ関係の皆様には、日頃より当連合会の業務運営に対し、格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、漁業を取り巻く情勢がさらに厳しさを増す中、未だ終息が見えない福島第一原発事故による影響や地球温暖化による異常気象の頻発、海外からの大気汚染物質の流入等、地球規模の自然環境悪化が懸念されております。

この結果、新たな緊急支援対策として「漁業用燃油緊急特別対策」が施行され、セーフティネット構築事業の拡充、さらには燃油使用量に応じた緊急助成の予算化を実現することが表明されたところであります。しかし、我々JFグループの進む道筋は依然として険しく、漁業が生き残りのための大きな分岐点にあることに変わりはありません。この難局を乗り切るため、引き続き関係当局に対する行動を展開して参りますので、皆様には今後ともご協力をお願ひ致します。

さて、本県の漁業につきましては、昨年の高水温と異常潮流によるホタテのへい死・成長不良の影響や、スルメイカをはじめとする本県主要魚種の漁獲不振と魚価の低迷、燃油・漁業資材等の価格上昇など、さらに厳しい状況下にあります。このように漁業経営が極めて厳しい状況にあることを踏まえ、沿岸・沖合漁業の共存共栄が可能な操業体制構築による「水産資源の確立」、漁業者の所得安定のための「漁業金融の円滑化」・「漁業共済加入促進」の三本柱の実践による循環型漁業構築を強力に推進し、これまで以上に資源管理型漁業の推進と漁業経営の安定と向上に努めていかなければならぬと、改めて意を強くしているところであります。

青森県は水産資源が豊富で、漁業・水産業は重要な基幹産業であります。水産物を安全・安心な食料として将来にわたり安定的に供給しなければなりません。「一人一人の力はあまりに小さいが和して団結するとき偉大である」との協同組合の原点に立ち返り、本県漁業・水産業の安定と発展に寄与すべく業務に邁進して参りますので、関係各位におかれましては、特段のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、この一年の皆様のご健勝と海上安全を祈念申し上げ、そして救命胴衣着用推進へのご協力をお願い申し上げ、年頭の挨拶と致します。

良の影響や、スルメイカをはじめとする本県主要魚種の漁獲不振と魚価の低迷、燃油・漁業資材等の価格上昇など、さらに厳しい状況下にあります。このように漁業経営が極めて厳しい状況にあることを踏まえ、沿岸・沖合漁業の共存共栄が可能な操業体制構築による「水産資源の確立」、漁業者の所得安定のための「漁業金融の円滑化」・「漁業共済加入促進」の三本柱の実践による循環型漁業構築を強力に推進し、これまで以上に資源管理型漁業の推進と漁業経営の安定と向上に努めていかなければならぬと、改めて意を強くしているところであります。



## 青森県農林水産部

### 水産局長 松 宮 隆 志

明けましておめでとうございます。

本県水産業の振興と発展に御尽力いただいております皆様に謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年は、長引く魚価の低迷や円安による燃油価格の高騰に加え、スルメイカやサケをはじめとする主要な漁業資源の低迷が続きました。

また、夏季には二年連続となる高水温に見舞われ、陸奥湾では平成二十二年のような養殖ホタテガイの大量つい死が危惧されました。しかし、これまでの経験を活かした適切な養殖管理により、改めて本県漁業者によるホタテガイ養殖技術の高さを感じました。県としては、今後とも、青森県漁連やむつ湾漁業振興会と緊密に連携し、陸奥湾全体が一体となつて、甘くて日本一美味しい青森ホタテを将来にわたつて供給できるよう取り組んでいきます。

さらに、東日本大震災からの復興に関して

は、九月の中型イカ釣り船の竣工で、国の補助事業を活用した代船建造も完了となりました。

原子力発電所事故の影響で、本県水産物の安全・安心を揺るがす事態となつた放射性物質については、マダラの出荷自粛に伴う実害分の補償が終了したほか、モニタリング調査を行つたすべての魚種について不検出又は微量という結果が得られており、創造的復興に向けた基盤が整つてきた年がありました。

このような中で、県では、魚価の向上及び水産業の活性化を目指し、本県水産物の知名度向上と消費拡大を図つていくため、昨年八月、本県の豊富で品質の高い水産物を重要な地域資源として位置付け、産地ならではのエピソードやうんちくなど盛りだくさんの自慢情報をとりまとめた、「青森おさかな自慢」という冊子を発行しました。この冊子をもとに、県内外の県産品フェアなどでPR活動を行い、県民や県外からの観光客等に、その情報を広く提供し、魅力

ある本県水産物の情報発信に積極的に取り組んでいるところです。

また、県政の重要施策として進めてきた「攻めの農林水産業」も本年度で十年という大きな節目を迎えました。来年度からは、次期対策として、農林水産業の「成長産業化」をキーワードに、これまで取り組んできた「つくり育てる漁業」や「資源管理型漁業」、漁港・漁場といった基盤整備に加え、漁船漁業の収益の向上、各地域の特色ある水産物や食文化・観光などをタイアップさせた地域ぐるみの取組、さらには、これらの取組を担う意欲あふれる人財の育成などを推進していくこととしています。

県といたしましては、本県の水産業が、加工業のみならず、地域の産業・経済を幅広く支える重要な基幹産業であるとの認識のもと、今後ともその役割を果たしていけるよう国や関係市町村と連携しながら、各種施策に取り組んでいきますので、関係者の皆様におかれましては、より一層の御理解と御協力をお願ひいたします。

結びにあたり、皆様のますますの御健勝と御繁栄、そして操業の安全を心からお祈りいたします、新年の御挨拶といたします。



## 青森県信用漁業協同組合連合会

代表理事長 西崎義三

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、県下漁協組合員をはじめとする漁業に携わる皆様に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

また、昨年中はJFマリンバンクの業務につきまして、皆様のご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、昨年の国内の経済情勢につきましては、政府の金融政策が功を奏し、為替レートが円安傾向に推移したこともあり自動車メーカーをはじめとする輸出関連企業が大幅黒字になるなど、景気回復の兆しが見え始めた年であります。ただ、この景気回復基調も大都市圏の大企業に限られ、地方への波及はまだ時間を要する感があります。

一方、漁業情勢につきましては、漁獲量の減少と魚価の低迷、燃油の高止まりといった状況が続いており、漁業経営者は大変厳しい環境に晒された一年であります。

本県漁業においては、主要魚種であるホタテ、スルメイカについても厳しい状況となつており、特に、むつ湾西部地区のホタテ漁業は、平成二十二年以降の高水温被害に悩まされ、未だ回復の兆しが見えない状況にあり、漁業経営

意欲の減退が危惧されるところです。

平成二十五年度上期のホタテの水揚金額（県漁連取扱分）は前年比、六・三九パーセント減少となりました。鮮魚類でも平成二十五年度上期におきまして、総じて数量・金額とも減少となり、特に主力魚種であるスルメイカの水揚金額（県漁連取扱分）は前年比八・五九パーセント減少の一〇二二三百万円となりました。いずれも、依然厳しい状況が続いているです。

また、漁業用燃油の高騰が続き、漁業経営が逼迫してきていることからJFグループでは、「我が国漁業の存続を求める全国漁業者集会」を中央で開催し、政府に対し対策を求めているところです。原油価格、為替相場を鑑みますと当面の間は、高値に推移すると予想されることから、当連合会としても関係団体と連携し、漁業者の皆様と共にこの難局を乗り切っていく所存です。

この窮状を受け各種漁業者から当連合会に融資対応等の要請・要望が上つており、当連合会といたしましても漁業者の皆様の立場に立った対応をして参ります。

当連合会の経営状況ですが、平成二十五年九月末で貯金残高五二、四二二三百万円、貸出金残高一一、一五三三百万円、自己資本比率は一四・八一パーセントとなりました。昨年と比較して厳しい伸び率ではありますが、計画比では概ね順調に推移いたしております。これも一重に皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

貯金業務につきましては、青森県漁協系統貯金平成二十五年度末残高五一五億円達成を目指として、JFマリンバンク懸賞付定期貯金を柱に貯蓄推進を行うと共に年金受取口座獲得・公共料金等の口座振替獲得件数拡充推進に努めて参ります。

貸出業務につきましては制度資金をはじめ各種ローンの推進をしているところであります。が、今年度は無保証人型融資と住宅ローン（協会保証付）をメインに融資の拡充を図って参ります。

漁業環境、経済環境が、今後ますます厳しさを増すと予想される中で、JFマリンバンクとしての相談機能をより一層充実させ、関係団体等と連携強化を図り融資推進と管理体制の強化に取り組んで参ります。

漁業者の皆様には貯金・貸出等につきまして、当連合会の各店舗を通じてお気軽にご相談・ご利用くださいますよう宜しくお願いします。

結びといたしまして、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、JFマリンバンクへの変わらぬご支援・ご愛顧賜りまますよう重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 青森県漁業信用基金協会

理事長 植 村 正 治



新年あけましておめでとうございます。

平成二十六年の輝かしい新年を会員の皆様とお迎えすることができましたことを大変うれしく思います。

日ごろ当協会の業務につきまして、県、市町村、関係機関より格別の御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

特に昨年は、協会創立六十周年という意義深い節目の年にあたり、記念式典、記念講演、祝賀会を開催したところ多数の御出席をいただき衷心より御礼申し上げます。

境の悪化、沿岸水域の資源量の減少、さらには

燃油高騰等により年々厳しさを増しております。併せて地球的温暖化の影響を実感する近年の高温による被害等、本県中小漁業者の漁業経営は、これまでにない深刻な状況となつております。

このような時こそ、漁協並びに漁業者の皆様そして私ども「系統団体」が一丸となり、その役割を發揮することが必要と考え、当協会といつましても、高温影響対策としては、平成二十二年に本会独自に創設した「漁業高温被害対策生活資金」を引き続き推進する所存であります。

一方、既存の「沿岸漁業推進関連資金」や

「極度貸付根保証資金」等の漁業者支援型資金と併せ、国の事業である「無保証人型漁業融資促進事業」については、積極的に取り組み、かつ、昨年からは、中小漁業者（沿岸漁業者）の生活環境の改善並びに生活基盤の安定を以つて、後継者対策等の向上を図ることを目的に「事業関連住宅資金」の保証取扱いを始めております。

また、漁業金融への浜のニーズに的確かつ持続的に応えるとともに、融資を受けた後の安定した漁業経営を確保するため、『水産資源の確立』、『漁業金融の円滑化』、『漁業共済加入推進』の三本柱を効率よく循環させるため、青森県の漁協・組合員の継続の基礎となる『循環型漁業の構築』の実現に引き続き努めて参りますので、皆様の更なる御理解のもと御協力、御支援を賜りますようお願いいたします。

終りに、皆様のますますの御繁栄と御健勝並びに海上安全をお祈り申し上げ、新年の御挨拶をいたします。

さて、当組合は、昨年「創立七十五周年」を迎えた。

漁船保険制度は漁業関係者の切なる要望により、昭和十二年六月に漁船保険法が施行され、当組合は昭和十三年六月に設立認可されたものであります。

本県の漁業界はオイルショック、二百海里時代、近年では東日本大震災など多くの試練を経験してまいりましたが、当組合が七十五周年を迎られました事は、青森県、組合員、漁業協同組合、関係団体各位の皆様のご支援とご協力

新年明けましておめでとうございます。

平成二十六年的新春を迎え、組合員、漁業協同組合、水産関係団体の役職員の皆様に心から新春のお慶びを申し上げます。



## 青森県漁船保険組合

組合長理事 福 島 哲 男

平成二十五年を振り返ってみると、漁業界は水揚げの減少、魚価安、後継者不足、燃油高騰に加え福島原発事故の影響による風評被害等非常に厳しい一年がありました。

本県の漁業界はオイルショック、二百海里時代、近年では東日本大震災など多くの試練を経験してまいりましたが、当組合が七十五周年を迎られました事は、青森県、組合員、漁業協同組合、関係団体各位の皆様のご支援とご協力

によるものと深く感謝申し上げるところであります。

漁船保険業界は、漁船の減少、漁業者の高齢化など漁船漁業を取り巻く厳しい環境の中、漁船保険組合の経営基盤である加入隻数、保険金額の漸減を余儀なくされ、漁船保険中央会に設置された制度問題特別委員会から、漁船保険制度が今後も引き続き漁業者のための保険として有効に機能するため、漁船保険組織の財政基

盤を強化し、より合理化・効率化された組織体制が必要となり、全国の漁船保険組織と漁船保険中央会を一元化し、統合された漁船保険組織として再編すべきとの答申が出され、平成二十九年四月を目指とした一元化に対する決議を本年の臨時総代会でお諮りする予定としております。

漁船保険は、継続加入船の高船齢・高機齢化が進み、今後も経年損耗に起因する事故の発生

により保険金の支払も増加するものと思われますが、漁船保険組合は今後とも漁船保険の使命である「漁家経営の安定に資する」の目的を達成するため、保険金の早期支払、未加入漁船の加入促進、事故防止事業の充実等事業の推進を行つてまいります。

終りに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 青森県漁業共済組合

組合長理事 三津谷 廣 明

### 「ぎよさい」と「積立ぶらす」の

### より一層の普遍的加入を目指して

青森県の漁村の皆様、明けましておめでとう

ございます。

新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心よりご祈念申しあげます。

わが国の経済にはようやく明るい兆しが見えてきたのですが、漁業・養殖業は、魚価の低迷や燃油・飼料の高騰が続いており、また台風・赤潮等の自然災害による漁業被害、原発事故の放射性物質の風評による水産物消費や輸出への影響といった様々な問題を抱え、大変厳し

い状況に置かれています。

このように、「ぎよさい」と「漁業収入安定対策事業」は、漁業経営の安定を目的とする重要施策として、国の水産施策の柱の一つに位置づけられているところです。

三年間にわたって展開してきた普及推進全国運動『ぎよさいでぶらす！安心経営』の締め括りとして、平成二十五年度目標の共済金額一八二億円、漁業者申込積立額六億四千万円の達成に向け、新しい気持ちをもつて残り三カ月間の推進活動に力を注いで参ります。

また、本年四月からは新しい普及推進全国運動の実施を予定しております。「漁業収入安定対策事業」のより積極的な利用を呼び掛け、

このように、「ぎよさい」と「漁業収入安定対策事業」は、漁業経営の安定を目的とする重要施策として、国の水産施策の柱の一つに位置づけられているところです。

私たち漁業共済団体では、平成二十三年度から「漁業収入安定対策事業」の実施に合わせて、普及推進全国運動『ぎよさいでぶらす！安心経営』を展開しており、系統各団体や行政庁と連携しつつ、組織を挙げて「ぎよさい」と

# あおもり漁連

「ぎよさい」と「積立ぶらす」が災害対策・経営安定対策の役割を十分發揮できるよう、より一層の普遍的加入の実現に向けて全力を挙げて取り組む所存であります。



## 農林中央金庫青森支店

支店長 松浦 康史

県下漁協組合員の皆様ならびに漁協系統団体の役職員の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申しあげます。

また、漁協系統事業全般にわたる皆様の日々のご努力に対しまして深く敬意を表しますとともに、私ども農林中央金庫の業務につきまして、平素より特段のご理解とご協力を賜り心から御礼申しあげます。

さて、漁業情勢につきましては、ご高承のとおり漁獲不振や魚価低迷、燃油の高騰といった窮境からの脱却を見通すことができない状況が続いており、漁業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。特に、本県におきましては、主要魚種であるホタテガイ・スルメイカの水揚数量が、相次ぐ時化や高水温、潮流の影響により低迷しており、漁業者の所得減少のみならず漁業経営意欲の減退・将来を担う人材の確保が憂慮されます。

成長促進を目指す「アベノミクス」の始動により、大規模な金融緩和政策、いわゆる「異次元緩和」がなされ、円安・株高傾向が強まつたほか、企業・家計の景況感が好転するなど、堅調に推移しております。一時的な成長率の減速は見受けられるものの、年度末にかけては消費税増税を前にした駆け込み需要の本格化や公共投資の下支え、緩やかながらも持ちなおす輸出などによって、景気が回復することを期待しております。一方、TPPにつきましては、昨年七月に日本の交渉参加が決定されたもの、今後の交渉如何によつては、漁業者へも多大な影響を及ぼすことが強く懸念されるなど、依然として交渉の動向に注視が必要な状況となつております。

JFグループにおきましては、このような厳しい情勢を乗り越えるべくJFグループの運動方針である「JFグループ組織・経営・事業戦略（二〇一〇～二〇一四年度）」に基づく諸施策に取り組んでおります。漁協系統信用事業においては、漁業金融を専門とする貸出・相

本年は、「ぎよさい」制度発足五十周年の節目の年であります。「ぎよさい」と「積立ぶらす」が、漁業再生産の確保と漁業経営安定の大きな支えとなり、漁協を核とする将来の漁村

づくりにも一層の貢献ができるよう努力して参りますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

談機能を發揮し、水産業や地域社会の発展への貢献を通じて浜の暮らしを守ることがJFマリンバンクの果たすべき使命と捉え、経営健全性の一層の強化や効率的な事業運営体制の構築に向けた取組み、漁業金融機能の強化や家計メイン口座化促進といった利用者に対するより良い金融サービスの提供を目指した取組みを進めています。最近の動向といたしましては、組合員・社会のニーズに応えるべく、コンビニATM提携先の拡充を実施した結果、時間内の利用手数料が無料となるATMは全国に約八八、〇〇〇台と、業界トップクラスの水準となりました。一方、反社会的勢力等の排除に向けた取組みや不祥事発生の未然防止等、コンプライアンスにかかる対応が一層求められております。当県におきましては、青森県信漁連を中心とした信用事業の安定的な運営体制が構築されておりますが、私ども農林中央金庫といたしましても、引き続き、JFマリンバンクの利用者の負託に応え、「浜の暮らしを守る信頼の金融」の実現のために微力ながらお手伝いさせていただく所存でありますので、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

最後になりましたが、本年の豊漁と、県下漁協組合員の皆様並びに漁協系統団体役職員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします、新年わが国経済に目を転じますと、デフレ脱却や



## 全国漁業協同組合連合会

代表理事長 岸宏

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国の皆様に謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

振り返りますれば、昨年は新政権による経済再生最優先政策により復活に向かって滑りだしはしたもの、景気浮揚による魚価の回復、消費の拡大などの政策効果が水産業にまでは及ばず、また台風が約二十年ぶり三十を超えるなどの異常気象などもあり、我々漁業者にとっては先のかすかな光は見えつつも依然として厳しい年となりました。

また、燃油高止まり、魚価安、減少する水産物消費量などの課題への抜本的な回答は見いだせず、日本の漁業は、効果のある対処をしなければ将来展望が見えなくなる状況に陥る寸前であることは変わりありません。

私が、昨年六月のJF全漁連会長就任以来、強い思いを持ち申しあげていることは、JFグループが自らが変革を恐れない勇気をもち、そ

して本会が浜から信頼される実行力をもつ力強い組織であることが、今こそ求められているとということあります。日本の浜の将来を考えるとき、まず、我々が自ら決めた道を毅然として進んでいくことが重要であり、そのうえでそれをさらに進める仕組みづくりをJF全漁連が先頭に立ち全力で作り上げなければなりません。

また、そうした活動を十全にしていくためには、本会の経営が健全であることが前提であります。ご案内のように、本会は、東日本大震災の影響などにより、会員・関係者のご理解のもと、増資や事業の利用拡大などを基本とする七か年に亘る経営再建計画を二〇一二年度より取り組んで参りました。この計画については、御蔭を持ちまして、本年度を以つて前倒し達成ができる見通がたつたところであります。

ここに改めまして、本会への会員並びに関係の皆様のご協力・ご支援に対しまして御礼申しあげます。本会役職員一同、これまでの努力を



継続し、日本の浜の将来のために一層尽力してまいることをお誓いいたしたいと存じます。

昨年十二月の漁業代表者緊急要請集会をはじめとした取り組みにより、大型補正予算による省燃油活動推進事業の他、漁業用燃油緊急対策二事業の措置や農林漁業用A重油の特例措置及び地球温暖化対策税の特例措置の延長など、漁業経営を維持するための道筋を作ることができます。しかし一方では、大きく動き始めたTPP協定交渉をはじめとする課題など、依然として我々JFグループの進む道筋は険しく、我が国漁業は生き残りのための大きな分岐点にあることは変わりありません。

このような日本の漁業再興へのかじ取りを誤ることが許されない中、本会では、JFの原点に立ち返り、水産物消費拡大に向けた活動に力を注いでまいりたいと考えております。JFグループ関係者のみなさまにおかれましても、これまで以上に英知と総力を結集していただき、本会の活動に対応しての、引き続きのご協力・ご賛同を頂きたくお願ひ申しあげます。

最後になりますが、漁業の豊かな将来を念じつつ、全国各地でご活躍の皆様の操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事長 鎌 田 光 夫

### 新医療共済をバネに目標達成へ

あけましておめでとうございます。皆様方に  
は、日頃からJF共済事業にご理解とご尽力を  
賜り心より感謝申し上げます。年頭にあたりま  
して一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、甚大な被害をもたらした東日本大  
震災から、早三年が経過しようとしております  
が、復興にはなお道半ばにあり、共水連といた  
しましても、引き続き、被災地JFの業務機能  
の復旧を支援するとともに、この震災を風化さ  
せることのないよう、使命・役割をしつかり果  
たしてまいりたいと存じます。

さて、JF共済を取り巻く環境は、「アベノ  
ミクス」により景気回復期待の高まりはあるも  
のの、急激な円安による燃油高騰と長期にわた  
る魚価安、原発事故による風評被害、また、T  
PP交渉参加への懸念など、先行き不透明で相  
変わらず厳しい状況が続いている。

九〇%以上ものお引受をいただき、さらには、  
各準備金の充実強化と併せ、新基準で六〇〇%  
を超えるソルベンシー・マージン比率を確保す  
ることができました。会員各位には特段のご理  
解とご尽力をいただきましたことに、厚くお礼  
を申し上げます。

#### 共水連といたしましては事業量目標の必達、

さらには、東日本大震災への対応はもちろんで  
はありますが、マネジメント改革の推進や、引  
き続き経営の健全性にむけた増資、漁業者ねん  
きんの改善措置の検討などの諸課題につきまし  
ても、お力添えをいただきながら、順次、強力  
にすすめてまいる所存であります。

皆様方には、倍旧のご理解・ご協力を賜りま  
すようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて  
いただきます。

さらに、年度末に向けた強力な推進活動によ

り、生活総合共済「くらし」を含め、最重要課  
題であります長期共済の目標達成に最大限の努  
力を図つてまいりたい、と考えております。

また、平成二十四年度を初年度とする三ヵ年の  
増資計画をすすめているところであります  
が、非常に厳しい事業環境の中、増資目標額の





# 謹賀新年

青森県漁業協同組合連合会

代表理事長 赤石憲二

副会長理事 角田順一

専務理事 小出政明

理事 事三津谷廣明

理濱端廣文

木浪優昭

三國優昭

佐々木信昭

工藤伍郎

監事山口隆治

代表監事岡沼明見

監事ほか職員一同

青森県信用漁業協同組合連合会

代表理事長 西崎義三

青森県漁業信用基金協会

理事長植村正治

組合長理事 福島哲男

組合長理事 ほか役職員一同

青森県JF共済推進本部

本部长三国

組合長理事 ほか役職員一同

青森県漁業共済組合

組合長理事 三津谷廣明

組合長理事 ほか役職員一同

(一社)青森県漁港漁場協会

代表理事 越善靖夫

代表理事 ほか役職員一同



# 謹賀新年



青森県漁業経営安定対策本部

本部長 赤 石 売

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県さけます増殖流通振興協会

会長 赤 石 売

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県小型いか釣漁業協議会

会長 三 國

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県漁船海難防止・水難救済会

会長 赤 石 売

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県漁業環境保全振興協会

会長理事 赤 石 売

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県新漁業協同組合運動協議会

会長 赤 石 売

ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県定置漁業協会  
青森県東部海域漁業協議会

会長 西 崎 義 三  
西 崎 義 三  
会長 西 崎 義 三  
西 崎 義 三  
会長 西 崎 義 三  
西 崎 義 三

青森県漁協青年部連絡協議会

会長 澤 田 繁 悅  
澤 田 繁 悅  
会長 澤 田 繁 悅  
澤 田 繁 悅  
会長 澤 田 繁 悅  
澤 田 繁 悅

むつ湾漁業青色申告会連合会

会長 山 口 隆 治  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県漁協専務参事会

会長 成 田 直 人  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

漁船海難遺児を励ます青森県地方協議会

会長 赤 石 売  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県ほたて流通振興協会

会長理事 植 村 正 治  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

むつ湾漁業振興会

会長 三津谷 廣 明  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

(公社)青森県漁協経営安定対策協会

会長 赤 石 売  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

(一社)青森県ほたて漁業振興基金

理事長 植 村 正 治  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

(一社)青森県水産振興会

会長 宮 下 順 一 郎  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

青森県漁協女性組織協議会

会長 熊 谷 ヒ サ 子  
ほか役員一同 ほか役員一同 ほか役員一同

# 我が国漁業の存続を求める漁業代表者緊急要請集会



岸全漁連会長 挨拶

去る十二月四日、JF全漁連主催による「我が国漁業の存続を求める漁業代表者緊急要請集会」が自民党本部において、全国の漁連・信漁連・漁業共済の代表など一三〇人（本県から、赤石会長・西崎会長・三津谷組合長・小出専務・佐藤専務・熊木部長）が集結して行われた。

集会は、初めに主催者を代表して岸JF全漁連会長が、「厳しい状況に置かれている水産業の打開のため、六月に全国漁業者集会を開催し、燃油使用量に応じた支援策を求めることと、円安や魚価安などの要因に振り回されるとのない、強い水産業体质をつくり上げるために総合的対策を講じることを求めたところ、自民党水産部会でこの二つを支援策として取り上げてくれる約束してくれ大変心強い。我々も自主的に強い水産業づくりに取り組む。

全漁連も浜の再生に全力を尽くすので、燃油使用量に応じた緊急支援策を是非実現してもらいたい」と挨拶した。

次いで、菊地JF全漁連総合政策部会長は、「原発事故による風評被害など、円安で燃油価格高騰が震災復興対策の足かせにもなっている。この状況を打開するため、燃油使用量に応じたコスト削減支援緊急対策を是非実現してほ

しい」と強く訴えた。

この後、小川JF全漁連副会長より「我が国漁業の存続を図るため燃油使用量に応じた支援を行う『緊急対策』を補正予算で確立」を訴える緊急要請を読み上げ、出席した自民党議員に要請した。

一方、要請を受ける自民党議員約一二〇名が出席する中、議員を代表し大島水産政策推進議員協議会会長は、「皆様の危機迫る挨拶、緊急要請はしっかりと承った。アベノミクスで景気が回復している部分もあるが、水産業は円安の影響もあり、逆に悪影響が出ている。集会を開いた皆さんの思いをしっかりと受け止め、予算編成時に向かって、使用量に応じた燃油代の緊急支援など、できる限りの政策が実現するよう全力を尽くし、期待に応えるようがんばる」と決意表明した。

参加者全員で、「燃油高騰緊急対策を実現するぞ!!」「浜の再生に向けてがんばるぞ!!」とのシユプレヒコールを上げて緊急要請集会を閉会した。

翌日、要請書を本県選出国会議員に手渡し強力要請をした。



シュプレヒコール



決意表明する大島議員

(写真提供：JF全漁連)

## 我が国漁業の存続を求める緊急要請

急激な円安による燃油等コストの上昇によって出漁すら出来ない状況の中で、放射能汚染水問題の風評被害等によって深刻化する水産物消費の減少と魚価低迷による減収は、漁業経営を危機的な状況に追い込んでいる。

また、TPP交渉は未だ何ら情報の開示もない中、年内合意に向けた動きが加速化し、予断を許さない状況となっているが、漁業補償金の堅持と水産物における重要品目を、政府には聖域として守ってもらわなければならない。

こうした中、与党自民党において、危機的状況に直面している漁業経営を救うための燃油使用量に応じた「緊急対策」を講じるとともに、円安や燃油高に振り回されない強い水産業づくりのための「総合対策」の実現に全力を尽くすことが6月に決議されたことは、我々漁業者をどれだけ勇気づけたか計りしえない。

我々漁業者は、地域一体となった取組によって強い水産業を構築することにより、我が国漁業が存続し、水産食料の安定供給等の責務を果たしていく決意であるが、TPP交渉において我が国漁業を守りきるとともに、今を乗り越え、これらの取組の実行を支えるため、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

我が国漁業の存続を図るための燃油使用量に応じた支援を行う  
「緊急対策」を補正予算で確立すること

平成25年12月4日

我が国漁業の存続を求める漁業代表者緊急要請集会  
全国漁業協同組合連合会  
一般社団法人大日本水産会

# 深浦町における 貨物船（ANFENG8号）座礁事故

平成25年3月1日、深浦町岩崎地区に座礁した貨物船「ANFENG8号」（カンボジア船籍）は、座礁して9ヶ月を経過し、波の浸食により船体が2分したにも関わらず、現在も放置状態が続いている。

事故発生後直ちに深浦町は対策本部を設置し、早期解決にむけて弁護士を通じ船主と交渉を重ねてきたが、船主側の対応は鈍く積載油の抜取りと船体固定作業のみで、再三の撤去要請にも拘わらず現状は悪化するばかりである。

又、船体の所有権が船主にあるため、対策本部では撤去作業に着手できず、現在は海岸の管理者である県が委託した業者により、船体の監視と固定作業にとどまっている。

この様な中、10月29日には破損部分からオイルが流出したため、オイルフェンス等による防除と残存油の抜取り作業を行ってきたが、11月26日には強風と高波により船体が二つに破断した。

幸い、残存油の回収作業は完了しており、タンク内部壁面に付着したオイルについても時化により搅拌されたと見られる。

この海域はマグロをはじめとする回遊魚が漁獲される好漁場であり、これから迎えるハタハタ漁及びサケの遡上への影響が懸念され、漁業者は大変不安な状況にある。

これから本格的な冬に入り悪天候が続くため、撤去作業の見通しが立たないことから、現在は破断した船体に対し海水を注入し、船体が移動しないよう固定措置を講じているところである。

本会としては、深浦町の対策本部と連携し船体の早期撤去に向け、県、国に対し強力に要請を行っているところである。

## 【本会の対応】

7月16日	三村県知事へ状況報告及び早期撤去に係る支援要請
11月11日	副知事へ早期撤去について要請（深浦町に同行）
11月21日	県選出国會議員へ早期撤去について要請

## 【破断した船体と海水注入作業の様子】

25.12.02現在



破断した船体



海水注入作業の様子

# 第4回 ぜ～んぶあおもり 大農林水産祭 開催

## 開催趣旨

「青森の食の魅力」を県内外に発信するため、本県の豊かな農林水産物や加工品、ご当地グルメなどを紹介・販売するイベントを、(公社)青森県物産振興協会、JAグループ青森、あおもり産品販売促進協議会、青森県漁業協同組合連合会、青森県森林組合連合会が有する青森力の集結により開催する。



オープニングセレモニー



会場風景

今回から本会が主催に加わり、10月9、10日、第4回ぜ～んぶあおもり大農林水産祭が青森産業会館で開催されました。会場では、海の市、JAふるさと市、産直市等98店が出店しました。

初日のオープニングセレモニーから始まり、抽選会、試食会、マグロ解体ショー等のイベントやゆるキャラ応援隊が大集合して会場を盛り上げました。

海の市では、本会、新深浦町漁協、鰯ヶ沢漁協等が出店し、本県産水産物をアピールしました。また、当日々悪天候にもかかわらず2日間で25,000人ほどの来場者で大いに賑わいました。

## 海の市 出店団体



本会・流通課



鰯ヶ沢漁協



新深浦町漁協

# 「平成25年度 海難防止技術競技会 下北大会」開催

去る10月12日、むつ市大畠漁港において、青森県漁船海難防止・水難救済会主催による「海難防止技術競技会 下北大会」を開催した。

## 【大会趣旨】

『これまで海難事故防止啓発運動として、海難防止講習会、岸壁への標語ペイント、救命胴衣購入助成、L G L（ライフガードレディース）による救命胴衣の着用推進運動等を展開しておりますが、海難事故は依然として後を絶ちません。

このような啓発運動は当該者が意識しなければ無くならないことでもあり、まずは救難所の活動実態を検証した結果、救難所としての活動が停滞していることが判りました。

このことから、救難所の「意識の高揚」と「救難活動の技術向上」を再生することにより、「救難所活動の活性化」を図り、海難事故撲滅を目指すことを目的に昨年8月に5救難所を増設し、本県18救難所を対象とした「第1回漁船海難防止・青森県大会」を開催しております。

よって、昨年の大会を期にこの運動を継続し、下北地区における更なる「救難所活動の活性化」と「海難事故防止への認識強化」を図るため、「平成25年度海難防止技術競技会・下北大会」を開催するものであります。』

大会には、下北地区管内から6救難所員と漁協関係者合わせて300名が参加し、人命救助に係る競技及び訓練に取り組んだ。

最初に主催者を代表し、赤石憲二会長（J F 青森漁連会長）より、『海難事故の防止については、漁業者自らの安全操業に対する意識改革が必要である。

よって昨年開催した青森県大会を期に今年は下北地区における救難所の「意識の高揚」「救難活動の技術向上」「救難所活動の活性化」を図って頂き、更にはこの地区大会を継続して行うことで、海難技術の向上と海難事故撲滅に努めて行きたい』と挨拶をした。



赤石会長挨拶



各救難所員

次に、来賓として宮下順一郎むつ市長（新谷加水副市長代読）、渡部一夫青森海上保安部長（谷田次長代読）、山内高博下北地域県民局地域農林水産部長から挨拶を頂いた。

続いて、本大会を機に新たに開設した、佐井、白糠の両救難所に承認書を授与した後、救難所を代表し、白糠救難所 西山所長が「私達救難所員は、事故の無い平和な海を祈りながら、万が一の時に備え、日々の訓練・救命器具の整備に努め、海のボランティア精神のもと、自らの危険を顧みず人命救助に尽くす」と決意表明した。

## ■海難防止安全宣言■

安全宣言をする  
尻屋漁協青年部  
柾谷部長



大畠町漁協女性組織 杉本代表

## ■海難技術競技会■

救難所の技術向上を目指す為の海難技術競技会に、下北地区の6救難所から総勢84名が参加し、整列競技・消火競技・心肺蘇生競技の3競技について技術を競い合った。

### ① 救難所員整列競技

各救難所から所長以下4名が参加し、救難所員としての基本動作が機敏で正確に行われているかを競い合う競技。



### ② 火災船消火競技

各救難所から所長以下5名が参加し、基本動作に加え消火作業が正確に行われているかを競い合う競技。



### ③ 心肺蘇生法競技

各救難所から3名が参加し、基本動作に加え心肺蘇生の手順・胸部圧迫・呼吸法が正確に行われているかを競い合う競技。



## ■合同訓練■

合同訓練では、大畠町漁協所属船のうち漁を終え帰港している船舶と、漁に向かう船舶が衝突事故を起こしたという想定で行った。

訓練は、大畠町救難所と青森海上保安部が合同で行い、対策本部からの指示に従い救助訓練を行った。

### ① 船舶救助訓練

衝突事故に伴う、航行不能船への救助訓練。

### ② 乗組員救助訓練

転落した乗組員の救助のため、現場に急行、漂流者を発見し救助し、船内で救難所員が心肺蘇生を行なながら漁港へ搬送した。

漁港で待機していた救難所員、海上保安部が心肺蘇生の実演を行った。



最後に、本日実施した技術競技及び合同訓練について、八戸海上保安部清水次長より「本日の大会は、日頃の訓練成果が遺憾なく發揮でき、非常に統制がとれておりました。今後、尊い人命と貴重な財産を失わないためにも、今まで以上に海難防止に対する意識の高揚と啓発が必要である」旨の講評があった。

## 技術競技結果

総合1位 脇野沢救難所

総合2位 尻屋救難所

総合3位 白糠救難所

# 今を変えれば未来は変わる 野辺地町漁業協同組合

## 健康づくりの紹介

今を変えれば未来は変わる

野辺地町漁協は構成員二七七人、下北半島の付け根に位置する、県内有数の海産物の宝庫である陸奥湾に面した野辺地町にあり、ホタテガイの養殖漁業が主体です。水揚量及び水揚金額の九割以上を、ホタテガイ及びナマコが占めており、この二種の販売には、トレーリバリティシステムが導入されています。

私たちが、健康づくりへの取り組みのきっかけとなつたのが平成十四年一人の漁業者が、海上の作業中に心疾患で倒れ、そのまま亡くなつた事や働き盛りの五十歳代の漁業者が癌・心疾患・脳血管疾患に罹る組合員が増え、漁業を続けられなくなつたり、亡くなる人が多くなつた事です。しかし漁業者は少しくらいからだの調子が悪くても医療機関を受診しない傾向がありました。その為、漁協女性部からは「家族の健康が危ない」漁協も漁業者の高齢化に加え健康状態が悪化している組合員の増加に危機感を持ちました。そこで女性部長と職員で「元気でなければ沖に出られない」「健康な漁師がつくるホタテは、安心・安全な・おいしいホタテ」であることを理事会で呼びかけ健康づくりの取り組みを行う事になりました。

### 取り組み

- ① 町と連携して「沖止めの日（休業日）」を漁業関係者優先の健診日に設定

- ② 各種会議や漁業者用回覧板で健診の呼びかけ

- ③ 漁協窓口で、町の健診の申し込みのとりまとめ

- ④ 健診自己負担料金の半額助成→全額助成へ

いざ実施すると今まで健診を受けたことない方が多いので不平不満等い

るいろいろありましたが、取り組み開始の年に当時の組合長にがんが見つかり、幸い早期だつた事もあり手術を受け完治しました。この大きな出来事により組合員たちの健診受診を後押しする事になりました。又、町と二人三脚で工夫したことは①漁業者集会等で町からの健診の必要性をレクチャー②健診そのものを受けやすい体制に改良③健診結果の説明は全員に丁寧に（保健師が作業小屋に訪問し保健指導）このような取り組みを八年間継続しております。

現在は、夫婦で健診を受ける組合員も多く、取り組みは定着してきました。又、開始当初は待ち時間にいらついていた組合員も、最近では仲間で健康の問題で談笑しながら順番待ちするようになりました。一方、自己負担金の助成申請件数は減少しておりますが受診件数は減少しております。これは「健康は自分のためだから、助成がなくても受けている」という組合員がいるからです。

漁業者は定年がありません海の恵みを糧にして生活している漁業者は、海を大切にするように、自分も大切にしていかなければならないと思います。今後も「元気でなければ沖に出られない・健康な漁師がつくるホタテは安心・安全なおいしいホタテ」をキヤツチフレーズに健康づくりに取り組んでまいります。

いざ、やってみたら、いろいろありました  
今まで健診を受けたことのない方が多いので…

健診なんて  
めんどうくさい

健診を受ける  
よりパチンコに  
行ったほうが  
まし

待ち時間が  
長いと苦情

悪いところが  
見つかるから  
受けない

自分の体は自  
分が一番知っ  
ている！

酒を飲むな  
ど言われるん  
じゃないの？

## 大きな出来事

取り組み開始の年に、当時の組合長が数十年ぶりに健診を受診し、がんが発見されました。

幸い早期だったので治療し完治  
このようなことも組合員たちの  
健診受診を後押ししたようです。

### 健診受診に対する意識の変化

- ①現在は、夫婦で健診を受ける組合員も多く、取り組みは定着してきました
- ②開始当初は待ち時間にいらついていた組合員も、最近では仲間で健康の話題で談笑しながら順番待ちするように…

※一方、自己負担金の助成申請件数は減少。  
しかし受診件数は減少していない。  
申請しなかった組合員によると「健康は自分のためだから、助成がなくても受けている」とのことであれい限り

おわりに…

漁業者は定年がありません  
海の恵みを糧にして生活している漁業者は、  
海を大切にするように自分も大切にして  
いかなければならぬと思います

元気でなければ  
沖に出られない  
健康な漁師がつくるホタテは  
安心・安全なおいしいホタテ

## 私たちの健康づくりへの取り組み



野辺地町漁業協同組合

### 健康づくりへの取り組みのきっかけ

- ①平成14年に地まきホタテガイの稚貝放流中に、一人の漁業者が心疾患で倒れ、そのまま亡くなった。
- ②平成15年頃から、働き盛りの50歳代の漁業者でがん・心疾患・脳血管疾患に罹る組合員が増え、漁業を続けられなくなったり、亡くなる人も多かった。
- ③しかし、漁業者には少しぐらいからだの調子が悪くても医療機関を受診しない傾向があった。

漁協女性部  
「家族の健康が  
危ない」

漁協  
「高齢化に加え  
健康状態が悪化している  
組合員の増加に危機感」

折しも、トレーサビリティシステムが導入され、消費者へ責任を持ってホタテガイを提供するべく、漁業者と漁協が一丸となっている

これはチャンス！  
女性部長と職員で理事会で呼びかけました

## 元気でなければ沖に出られない

健康な漁師がつくるホタテは、  
安心・安全な おいしいホタテ

### 取り組んだこと

- ①町と連携して「沖止めの日（休漁日）」を漁業関係者優先の健（検）診日に設定
- ②各種会議や漁業者用回覧板で健（検）診の呼びかけ
- ③漁協窓口で、町の健（検）診の申し込みのとりまとめ
- ④健（検）診自己負担料金の半額助成  
→全額助成へ など  
スタートした平成17年には80名以上が受診

# 第四十一回「海をきれいにする運動」優秀作品表彰式

41回「海をきれいにする運動」優秀作品表彰式  
主催：青森県水産振興会



表彰状授与

挨拶をする宮下水産振興会長

この「海をきれいにする運動」は、昭和四十八年、ホタテガイの養殖が盛んになつてきた陸奥湾をいつまでもきれいに守つていくために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会が取組み始めたものです。

それ以来、毎年続けられており、今年で四十一回目になりますが、昨年度からは、青森県水産振興会が引き継ぎ、県内全体の海岸を対象にすることとしたものです。

今年は、県内沿岸域の小・中学校に作品の応募をお願いしたところ、三六の小・中学校から五八九点の応募がありました。

専門審査員による厳正な審査を行い、二月十四日に優秀作品表彰式を県水産ビルにて行いました。



来賓、審査員、受賞者、主催者

# 第41回「海をきれいにする運動」受賞者一覧

## 《図画の部》【小学校】

賞名	学 校 名	学年	氏 名
特 選	青森市立造道小学校	1	上 野 未 來
準特選	平内町立東小学校	2	務 墓 莉 子
準特選	青森市立奥内小学校	4	赤 坂 真 庸
佳 作	青森市立奥内小学校	1	金 澤 杜 気
佳 作	青森市立奥内小学校	1	米 谷 優 里
佳 作	青森市立奥内小学校	2	名古屋 伊 吹
佳 作	青森市立奥内小学校	4	佐々木 彩 夏
佳 作	青森市立奥内小学校	4	石 澤 航 大
佳 作	青森市立奥内小学校	4	石 川 輝
佳 作	平内町立東小学校	2	荒 川 遥 佳
佳 作	平内町立東小学校	2	田 中 南菜実

第36回全国海の子絵画展へ出展（6名）



記念撮影

## 《ポスターの部》【小学校】

賞名	学 校 名	学年	氏 名
特 選	むつ市立大平小学校	3	小 林 大 悟
準特選	むつ市立川内小学校	5	野 里 史 織
準特選	むつ市立奥内小学校	6	立 石 愛 海
佳 作	むつ市立川内小学校	2	石 倉 康 多
佳 作	むつ市立川内小学校	5	村 口 春 樹
佳 作	むつ市立川内小学校	5	高 橋 来 夢
佳 作	むつ市立川内小学校	5	喜 田 桜 矢
佳 作	むつ市立川内小学校	5	杉 山 琴 美
佳 作	むつ市立大平小学校	5	高 草 木 結 翔
佳 作	青森市立造道小学校	4	山 内 萌 加

## 《ポスターの部》【中学校】

賞名	学 校 名	学年	氏 名
特 選	青森市立浪打中学校	2	小 形 海 星
準特選	平内町立小湊中学校	2	須 藤 里 水
準特選	むつ市立大平中学校	2	米 内 春 花
佳 作	むつ市立大平中学校	1	外 崎 詠 子
佳 作	むつ市立大平中学校	1	北 田 唯 乃
佳 作	むつ市立大平中学校	2	吉 丸 翔 也
佳 作	むつ市立大平中学校	3	鈴 木 優 花
佳 作	青森市立浪打中学校	1	笛 原 惟 吹
佳 作	青森市立浪打中学校	1	石 井 穂 佳
佳 作	青森市立浪打中学校	2	若 松 奏

## 《作文の部》

賞名	題 名	学 校 名	学年	氏 名
特 選	三厩の海は宝物	外ヶ浜町立三厩小学校	4	田 中 杏 実
準特選	一人ひとりが	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	3	竹 内 彩 香
準特選	小さな積み重ねを大切に	外ヶ浜町立平館小学校	3	小 田 桐 快 翼
佳 作	ホタテ漁の海	平内町立東平内中学校	3	田 村 和 也
佳 作	祖父のために	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	2	福 田 龍 也
佳 作	一つの行動	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	3	西 谷 眞 奈
佳 作	いつまでも	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	3	宮 野 加 奈 子

## 《標語の部》

賞名	標 語	学 校 名	学年	氏 名
特 選	木を植えて 豊かな海を 育てよう	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	3	館 脇 奈 津 美
準特選	ポイ捨てを しない心と させない勇気	むつ市立川内小学校	6	納 谷 優 助
準特選	「ダメだよ」と 止める勇気が 海守る	むつ市立大畠中学校	1	釜 田 凉 花
佳 作	ゴミ拾い きれいな海に おんがえし	青森市立沖館小学校	4	橋 本 七 海
佳 作	「捨てないで」 環境守る 合言葉	むつ市立脇野沢小学校	5	木 下 美 羽
佳 作	落ちても 見てないふりが 海汚す	むつ市立大畠中学校	1	岩 崎 夏 季
佳 作	引き継ごう きれいな海を いつまでも	蓬 田 村 立 蓬 田 中 学 校	2	中 川 幸 太 郎
佳 作	海の保護 ゴミ捨て禁止の 基本から	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	1	竹 内 佑
佳 作	青い海 守る誓いを 実行に	佐 井 村 立 佐 井 中 学 校	3	宮 野 栄 一 郎

# 第四十一回 「海をきれいにする運動」作文の部

外ヶ浜町立三厩小学校 四年 田中杏実

「わあ、なんでこんなにきたないんだろう。」  
六月の初め、私はお父さんの船に乗って、生けすのある所に行きました。のお父さんは漁師で、家の生けすでは、フクラゲを育てています。

私が、大きくなつたかな。早く見たいな。」  
と思つてゐるうちに、船は生けすに近付きました。  
た。ところが、生けすの周りを見ると、ペットボトルやコーヒーの缶がたくさん浮いています。  
私は、お父さんが生けすの周りでごみを捨てたりしてゐるのを見たことはないので、「きたないな。だれだろう、こんなに海を汚してい  
るのは。」と思い、はらが立つてきました。お父さんを見ると、たもでごみをすくい始めていました。  
なんだか困つたような顔つきです。お父さんの顔を見ていると、私もなんだか悲しい  
気持ちになつてきました。そして、「ごみのせいで、フクラゲが死んでしまつたらどうしよ  
う。」と、心配になつてきました。

家に帰ると、二みがたくさん捨ててあつたことをお母さんに話しました。

「お母さん、今日、海に行つたら、生けすの周りにいつぱいごみあつたよ。」

するとお母さんは、困つたような顔で、

「ううん、そなんだ。」

と答えました。そして、少し考えてから、

「…

は、『よし、お父さんの言うとおり、ごみを見付けたら拾つて、大切な海をきれいにするぞ。』

と思いました。

それから一ヶ月ほどたつて、私たち三厩小学  
校のみんなと、中学校の人たち、地域のボラン  
ティアの人たちとで、竜飛海岸の清掃に行きました。  
した。私は、中学三年生のゆきえさんと同じグ  
ループになりました。ゆきえさんは、

「こここの場所で拾おう。」

「だれが捨ててもいいから、自分からごみを拾つてみて。そうしていくうちにすこしづつきれいになつていくよ。」

と言いました。私は、お母さんの言葉を聞いて、少し元気が出できました。

次の日、私はまた、きのうと同じ生けすに行つてみました。すると、様子がすっかり変わっています。きのうあれだけあつたごみがきれいになくなっています。私はおどろいてしまいました。お父さんに、「なんでこんなにきれいになつているの。」と聞くと、お父さんは笑つて、

「漁協の人たちみんなできれいにしたんだよ。ごみがとても多くてたいへんだつたよ。だから、杏実も、自分のごみでなくとも、自分から捨うんだよ。」

ごみを拾っていると、ボランティアの人の中には、私のおばあちゃんがいました。おばあちゃんは私に気付いていないようです。だらだら汗を流しながら、一生けんめいごみを拾つてふくろに入っています。そんなおばあちゃんを見ていると、「おばあちゃんよりも、もつとたくさんごみを拾わなくちゃ。」と思い、がんばりました。

集合時間になつたので、拾つたごみをグループごとにビニールぶくろに入れて、トランクに積みました。トランクの荷台はごみでいっぱいでした。でも、ごみの量を去年と比べると、今年の方が少なかつたので、「自分たちから進んで拾うようにしたから、少なくなつたんだな。」と、少しうれしくなりました。とても暑くてつかれたけど、たくさんのごみを拾えてうれしかったです。

今回、私は、外国から流れ着いたごみを見て、「海はつながっているから、私たちが捨てたごみは、同じように外国に流れていくかもしれない。だから、私たちもごみを捨てないようしよう。」と思いました。

みんなといつしょにジュースを飲みながら、「来年は、もつともつとごみが少なくなつていよいよ」とい。三廻の海は私たちの宝物だから、これからも進んでごみを拾うようにしよう。」

「さすがゆきえさんだな。」と  
思いました。

ごみを拾っていると、ボランティアの人の中には、私のおばあちゃんがいました。おばあちゃんは私に気付いていないようです。だらだら汗を流しながら、一生けんめいごみを拾つてふくろに入っています。そんなおばあちゃんを見ていると、「おばあちゃんよりも、もつとたくさんごみを拾わなくちゃ。」と思い、がんばりました。

集合時間になつたので、拾つたごみをグループごとにビニールぶくろに入れて、トランクに積みました。トランクの荷台はごみでいっぱいでした。でも、ごみの量を去年と比べると、今年の方が少なかつたので、「自分たちから進んで拾うようにしたから、少なくなつたんだな。」と、少しうれしくなりました。とても暑くてつかれたけど、たくさんのごみを拾えてうれしかったです。

今回、私は、外国から流れ着いたごみを見て、「海はつながっているから、私たちが捨てたごみは、同じように外国に流れていくかもしれない。だから、私たちもごみを捨てないようしよう。」と思いました。

みんなといつしょにジュースを飲みながら、「来年は、もつともつとごみが少なくなつていよいよ」とい。三廻の海は私たちの宝物だから、これからも進んでごみを拾うようにしよう。」


**水産に関する主な動き（8月～12月）**


月	事 項	場 所
8月		
5日(月)	全国漁連（県漁協）・信漁連会長会議	東京
12日(月)	本会業務部担当理事会	青森
12日(月)	本会理事会	青森
19日(月)	第1回青森県ホタテガイ養殖残さ対策協議会	青森
22日(木)	太平洋クロマグロの資源・養殖管理に関する全国会議	東京
23日(金)	後鴻漁協創立50周年記念式典	青森
27日(火)	全国漁連（県漁協）・信漁連専務参事会議	東京
30日(金)	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会	青森
9月		
5日(木)	JF全国監査機構・漁協監査部全体会議	東京
12日(木)	青森県定置漁業協会全体協議会	青森
17日(火)	第2回青森県ホタテガイ養殖残さ対策協議会	青森
25日(水)	第2回組合長会議	青森
10月		
1日(火)	全漁連臨時総会	東京
9日(水)	青森県農林水産業・地域の活力創造本部政策説明会	青森
11日(金)	漁協販売担当者会議	青森
12日(土)	海難防止技術協議会 下北大会	むつ
18日(金)	福島第一原発事故による風教被害対策説明会	青森
21日(月)	青森県漁業信用基金協会60周年記念式典	青森
24日(木)	第64回全国漁港漁場大会	愛媛
25日(金)	漁協系統購買担当者会議	青森
27日(日)	第33回全国豊かな海づくり大会	熊本
29日(火)	青森県漁船保険組合創立75周年記念式典	青森
31日(木)～1日(金)	本会監事・監査会	青森
11月		
1日(金)	青森県水産物の風評被害賠償請求手続きに係る事務担当者説明会	青森
9日(土)～10日(日)	ぜんぶあおもり大農林水産祭	青森
11日(月)	アンファン号オイル漏れに関する県への要請	青森
19日(火)	第3回青森県ホタテガイ養殖残さ対策協議会	青森
19日(火)	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会	青森
12月		
4日(水)	我が国漁業の存続を求める漁業代表者緊急要請集会	東京
11日(水)	本会業務部担当理事会	青森
11日(水)	本会理事会	青森
14日(土)	第41回「海をきれいにする運動」優秀作品表彰式	青森
20日(金)	漁協職員決算研修会	青森

# 第41回「海をきれいにする運動」 優秀作品

木を植えて 豊かな海を 育てよう

標語の部 特選  
佐井村立佐井中学校 3年 館脇 奈津美



図画の部 小学校  
(全国絵画展出展)  
青森市立造道小学校 1年  
上野 未来



ポスターの部 小学校 特選  
むつ市立大平小学校 3年

小林 大悟



ポスターの部 中学校 特選  
青森市立浪打中学校 2年

小形 海星

平成26年1月8日発行

〈発行〉 青森県漁業協同組合連合会  
青森市安方一丁目1番地32号  
TEL 017-722-4211(代)

〈印刷〉 (有)北陽印刷 TEL 017-788-2881

## あとがき

新年あけましておめでとうございます。  
2014年年頭にあたり関係各団体長様よりご挨拶をいただき厚くお礼申し上げます。  
今年も「あおもり漁連」をより一層、漁業者に関する情報誌として内容を充実させ、皆様から親しまれるよう心掛けて参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。  
最後に、漁業関係者各位のご健勝と操業の安全、大漁を心からご祈念申し上げます。